

## 2023年度

### ニチキッズ青い森保育園 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について、自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を以下の通り公表いたします。

また、本自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育の実践を目指してまいります。

評価方法		
保育士等（全職員）の自己評価	評価期間	2024年1月15日（月）～1月28日（日）
	実施方法	全職員に自己評価について趣旨を説明し自己評価を実施した。
保育施設の評価	評価日	2024年2月28日（水）
	実施方法	話し合いにより職場全体で共有し、保育施設の課題を明確化し、改善策を検討した。

項目ごとの評価	
保育理念	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの最善の利益を考慮した保育の基本理念、保育目標に沿って、子どもを主体とした日々の関わりや信頼関係の構築に努めたがその役割が保育の内容に十分反映されていくよう、引き続き次年度に取り組んでいく。</li> <li>・子どもの人権については細心の注意を払い保育にあたった。</li> </ul>
子どもの発達援助	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども一人一人への理解を深め、発達過程に応じた保育ができるよう研修会に参加するなど自己研鑽に努めた。</li> <li>・子ども同士の関わりを大切に子どもが自発的・意欲的に活動できるよう援助した。</li> </ul>
保護者に対する支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者の意向を理解・受容し、それぞれの家庭環境に配慮しながら日頃より保護者との信頼関係を深め、子どもの育ちを家庭と連携して支援できるよう努めた。</li> </ul>
保育を支える組織的基盤	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個々の職員に対して、組織としての教育、保育者の知識や技術の習得などの研修を計画的に行う必要性を感じた。また適切な保育を行う上での連携の大切さを更に深められるようにしていく。</li> <li>・個々の子どもの発達段階への配慮等を共有するため毎月ミーティングを行った。</li> <li>・アレルギー食等の対応には給食室と連携し、最善の注意を払ったことで、安心・安全な食事の提供を意識した取り組みが出来た。</li> </ul>

総評
<p>保育理念・保育目標から子どもの日々の姿や、職員の目指す保育像、理想とする保育へとつなげ、園の方向性を園全体で考えていく事が重要だと感じた。家庭での様子を伺い情報共有することで、子ども達にも、保護者にも寄り添うことが出来た。次年度も保育の質を高めていくために研修に参加し、子ども達がおもいきり楽しく過ごせる保育園を全職員で作る、チームの一員としての自覚を持ち、チームで同じ方向で進んでいきたいと思う。保育理念・方針をしっかりと理解し、指導計画を全体で評価・共有することで保育の質の向上、方向性を統一していきたい。</p>